

## プレゼンテーション等における発表者の順番の決定方法について

倉敷市水道局業務委託プロポーザル方式業者選定実施要綱第17条第2項に規定するヒアリング及びプレゼンテーションを行う発表の順番の決定方法については、次のとおりとする。

- (1) プレゼンテーション等の参加者（以下「参加者」という。）は、任意の3桁の数字「くじ番号」を見積書の「くじ番号」欄に記入する。
- (2) 各参加者に対し、業者番号の小さい者から順に0から番号を割り当て（0, 1, 2・・・）, 「整理番号」とする。
- (3) 各参加者の「くじ番号」の和を求める。
- (4) 前号の「くじ番号」の和を参加者の数で除し、余りの値を求める。  
（除した答（商）は、0を含む自然数（0, 1, 2・・・）とし、「くじ番号」の和が0の場合は、商及び余りは0とする。例えば、「くじ番号」の和が1722で、参加者の数が5者の場合、 $1722 \div 5 = 344$  余り2 となる。）
- (5) 前号で求めた余りの値と第2号で割り当てた「整理番号」が一致した者を第1発表者とする。
- (6) 次順以降については、第1発表者となった者を起点として、「整理番号」の昇順に発表者を決め、「整理番号」の一番大きい値に達した後は、「整理番号」が0の者を起点として昇順に発表者を決める。

【例】参加者がA～Eの5社の場合

参加者	くじ番号	業者番号	整理番号	順番	プレゼンテーション等の順番
A社	478	000000000001	0	4	第4発表者
B社	010	000000000002	1	5	第5発表者
C社	626	000000000003	2	1	第1発表者
D社	217	000000000004	3	2	第2発表者
E社	391	000000000005	4	3	第3発表者

【発表の順番の決定方法】

参加者の「くじ番号」の和は、

$$478 + 010 + 626 + 217 + 391 = 1722$$

$$1722 \div 5 = 344 \text{ 余り } 2 \quad (\text{「くじ番号の和」} \div \text{「参加者の数」})$$

第1発表者は、「整理番号」が「2」のC社となる。

### ■ 備考

- ・ 「くじ番号」は、000～999までの数字の中から任意に選択すること。
- ※ 「くじ番号」の記入の無いものや「くじ番号」欄にアラビア数字でないものを記入した見積書は、「くじ番号」を「000」として取り扱う。また、部分的に記入の無い見積書やアラビア数字でないものを記入した見積書については、当該箇所についてのみ「0」として取り扱う。
- ・ 「業者番号」は、参加表明書提出後に、各参加者に配布する。
- ・ 各参加者の「業者番号」及び「くじ番号」は、開札後、倉敷市水道局ホームページ等で公表する。